

産地パワーアップ事業都道府県事業評価報告書

都道府県名 岡山県

産地パワーアップ計画

(1) 生産コスト又は集出荷・加工コストの10%以上の削減

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状		目標		実績		事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考						
						年度	面積 単位	生産量、出荷量、又は処理量 単位	年度	面積 単位	生産量、出荷量、又は処理量 単位						年度	面積 単位	生産量、出荷量、又は処理量 単位			
矢掛町農業再生協議会	1	矢掛町	施設野菜(アスパラガス)	高性能選別機械の導入による集出荷コストの削減	集出荷コストの10%以上の削減	H27	87,662円/10a	4.16 ha	35.7 t	H30	70,328円/10a	6.00 ha	54.0 t	77,906円/10a	5.16 ha	28.7 t	56.3	集出荷コストは、平成30年7月豪雨の影響を受け、機械選別では選別できない細かいカビ等の付着を自視で判断しなければならなかったため、選別時間の削減ができず自らの集出荷コストの削減ができなかった。 ①現状値：平成27年度集出荷コスト87,662円/10a ②目標値：平成30年度集出荷コスト(見込み)70,328円/10a ③実績値：平成30年度集出荷コスト(実績)77,906円/10a ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 ※集出荷コスト 電気料金、消耗品及び集出荷専用パート職員の従事時間より、集出荷コストを算出 矢掛町アスパラガス集出荷コスト削減資料による	集出荷コストは、平成30年7月豪雨の影響を受け、機械選別では選別できない細かいカビ等の付着を自視で判断しなければならなかったため、選別時間の削減ができず自らの集出荷コストの削減ができなかった。 また、急激な豪雨が規模拡大に取組んだことにより作付面積は増加したものの、新規栽培者が競争事情により栽培を中止したため、作付面積が予定より増えなかったことから面積目標は未達成となった。 平成30年7月豪雨災害の影響があることで、栽培技術指導を強化して生産量の増加と品質の向上に努め、選果作業の軽減と集出荷量による集出荷コストの削減と、新規栽培者の確保と育成による生産面積の増加を一層推進する。 今後は、かん水、肥培管理等の指導を強化して生産量増加、規格外品の低下を図り、集出荷量を増やして人件費を削減する。また、町と連携し、アスパラガス栽培就農者を増やして担い手を確保し、生産面積の増加を一層推進する。	平成30年の西日本豪雨の影響による客結病の発生、塩漬の腐敗、冠水のために生産量が減少し、機械選別の出来ない細かいカビ等の付着により選別時間の増加による削減ができず、集出荷コストは目標達成しなかった。 また、急激な豪雨により生産者がいたことから作付面積は予定より増えず、作付面積は目標達成しなかった。 今後は、普及指導センター、JA、町等関係機関が連携して支援すること、栽培技術指導を強化して生産量の増加と品質の向上に努め、選果作業の軽減と集出荷量による集出荷コストの削減と、新規栽培者の確保と育成による生産面積の増加を一層推進する。		

(2) 販売額又は所得額の10%以上の増加

地域協議会名	整理番号	地区名	対象作物	取組内容	成果目標	現状		目標		実績		地域(県又は国の)価格(販売単価)	事業実施前年度	目標年度	修正係数	価格修正後の実績	事後評価の検証方法 (※定量的な検証ができること。)	達成率 (%)	地域協議会等の評価	都道府県の評価	備考											
						年度	面積 単位	生産量又は出荷量 単位	価格 (販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度											面積 単位	生産量又は出荷量 単位	価格 (販売単価) 単位	生産コスト 単位	年度	面積 単位	生産量又は出荷量 単位	価格 (販売単価) 単位	生産コスト 単位		
笠岡市地域農業再生協議会	2	笠岡市干拓(バウ)	バラ	高度環境制御栽培施設の整備	販売額の10%以上の増加	H27	8,935千円/10a	4.06 ha	3,783,888本	95.85 円/本	—	H30	11,024千円/10a	4.38 ha	4,931,998本	97.88 円/本	—	H30	8,598千円/10a	4.38 ha	4,344,610本	86.66 円/本	—	71.23 円/本	69.04 円/本	1,032	8,873千円/10a	-3.0	①現状値：平成27年度販売実績等から算出 ②目標値：平成30年度販売見込み額から算出 ③実績値：平成30年度販売実績から算出 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 ※価格修正後の実績 修正係数及び価格修正後の実績数値の算出超過より ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 今後は、苗の維持と育成を促すための経営状態への回復を図り、生産量増加と品質向上に努めるとともに、市場ニーズの高い品種への転換や精選の高い出荷計画の提供など、市場評価の異なる向上に向けた取組を進め、全体目標の達成に向けて継続的な指導を行う。	平成30年7月豪雨により約3,300㎡の浸水被害を受け、2日間浸没した状態となったため、ほぼ全体約3,300㎡が根腐れにより出荷不能の状態となった。 ②目標値：平成30年度販売見込み額から算出 ③実績値：平成30年度販売実績から算出 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 今後は、苗の維持と育成を促すための経営状態への回復を図り、生産量増加と品質向上に努めるとともに、市場ニーズの高い品種への転換や精選の高い出荷計画の提供など、市場評価の異なる向上に向けた取組を進め、全体目標の達成に向けて継続的な指導を行う。	平成30年の7月豪雨により浸水被害を受け、2日間浸没した状態となったため、ほぼ全体約3,300㎡が根腐れにより出荷不能の状態となった。 ②目標値：平成30年度販売見込み額から算出 ③実績値：平成30年度販売実績から算出 ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 今後は、苗の維持と育成を促すための経営状態への回復を図り、生産量増加と品質向上に努めるとともに、市場ニーズの高い品種への転換や精選の高い出荷計画の提供など、市場評価の異なる向上に向けた取組を進め、全体目標の達成に向けて継続的な指導を行う。	
奈義町農業再生協議会	1	奈義町	麦	6次産業化による収益性の向上による経営環境拡大	販売額の10%以上の増加	H27	10,843円/10a	計16.6 ha	二条大麦 40,000 kg 二条大麦 2,000 kg	—	—	H30	40,755千円/10a	計18.0 ha	二条大麦 39,200 kg 二条大麦 8,800 kg	二条大麦 30 円/kg はだか麦 700 円/kg	—	H30	33,050円/10a	16.0 ha	二条大麦 29,350 kg はだか麦 8,520 kg	二条大麦 30 円/kg はだか麦 517 円/kg	—	二条大麦 51.5 円/kg はだか麦 47.7 円/kg	二条大麦 52.4 円/kg はだか麦 52.9 円/kg	0.983 0.902	30,248円/10a	64.9	①現状値：平成27年度申告資料から算出10,843円/10a(販売額1,800千円、二条大麦1,200千円、はだか麦400千円)、作付面積1.6ha(二条大麦1.0ha)、はだか麦1.0ha ②目標値：平成30年度販売見込み額、作付面積17.6ha(二条大麦7,336千円(二条大麦1,700千円)、はだか麦6,160千円)、作付面積18.0ha(二条大麦14,000a、はだか麦4,000a) ③実績値：平成30年度申告資料から算出40,755千円/10a(販売額7,336千円、二条大麦29,350千円、はだか麦8,520千円) ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 はだか麦を押し麦に加工し、販路を開拓することで、押し麦の販売数量、販売額、販売数量あたり販売単価は年々増加してきたが、近年の全国的なはだか麦の増産による競争から在庫が生じ、目標の販売額には届かなかった。 今後は、生産面については、麦栽培に適した圃場選定や排水対策の徹底による単収の向上を図るとともに、販売面については、町が実施するふるさと特定産への提供継続や、新たな販路拡大の提供に努め、早期の目標達成に向けて、JA(県農業普及指導センター)等の関係機関と連携を図り指導していく。	加工から販売まで自ら行う6次産業化により、はだか麦を活用して高収益な経営の確立を進め、毎年、新たな販売先を開拓し、はだか麦の販売数量と販売額、販売数量あたり販売単価は年々増加してきた。しかし、近年、同様の加工品の流通が増加したことで計画どおりの販売に届かない事が想定され、成果目標達成に向けてサンプル(試供品)配布によるPR活動を先行し、積極的に販売努力を実施したものの目標の販売額には届かなかった。 今後は、生産面については、麦栽培に適した圃場選定や排水対策の徹底による単収の向上を図るとともに、販売面については、町が実施するふるさと特定産への提供継続や、新たな販路拡大の提供に努め、早期の目標達成に向けて、JA(県農業普及指導センター)等の関係機関と連携を図り指導していく。	加工から販売まで自ら行う6次産業化により、はだか麦を活用して高収益な経営の確立を進め、毎年、新たな販売先を開拓し、はだか麦の販売数量と販売額、販売数量あたり販売単価は年々増加してきた。しかし、近年、同様の加工品の流通が増加したことで計画どおりの販売に届かない事が想定され、成果目標達成に向けてサンプル(試供品)配布によるPR活動を先行し、積極的に販売努力を実施したものの目標の販売額には届かなかった。 今後は、生産面については、麦栽培に適した圃場選定や排水対策の徹底による単収の向上を図るとともに、販売面については、町が実施するふるさと特定産への提供継続や、新たな販路拡大の提供に努め、早期の目標達成に向けて、JA(県農業普及指導センター)等の関係機関と連携を図り指導していく。	
鏡野町農業再生協議会	1	下原	施設野菜(トマト)	次世代を担う産地の体制整備 ハウスの高度化及び環境制御装置の導入	販売額の10%以上の増加	H27	6,540,961円/10a	2.5 ha	290 t	553 円/kg	—	H30	7,551,615円/10a	2.6 ha	338 t	582 円/kg	—	H30	6,243,205円/10a	2.5 ha	275 t	566 円/kg	—	346 円/kg	329 円/kg	1,052	6,567,852円/10a	2.7	当該法人の出荷販売記録簿から、下記により目標達成率を検証する。 ①現状値：平成27年度販売額6,540,961円/10a(見込)=160,406,597円/2.5ha ②目標値：平成30年度販売見込(見込)7,551,615円/10a(見込)=196,780,597円/2.6ha ③実績値：平成30年度販売見込(見込)6,243,205円/10a(見込)=196,780,597円/2.6ha ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 今後は、適正な株数の検討や、炭酸ガス施用及び温度管理による効果的かつ有効な環境管理を実施する事により、期間を通じた安定生産を実現し、さらには新年度契約栽培を進めることで販売額の向上を図り、目標達成を目指す。	高温対策としてハウスに吹き付け選果剤を導入したものの、7月豪雨により選果剤が流れ落ち、その後の高温により草勢が低下するとともに選果剤が発生した。 ①現状値：平成27年度販売額6,540,961円/10a(見込)=160,406,597円/2.5ha ②目標値：平成30年度販売見込(見込)7,551,615円/10a(見込)=196,780,597円/2.6ha ③実績値：平成30年度販売見込(見込)6,243,205円/10a(見込)=196,780,597円/2.6ha ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 今後は、適正な株数の検討や、炭酸ガス施用及び温度管理による効果的かつ有効な環境管理を実施する事により、期間を通じた安定生産を実現し、さらには新年度契約栽培を進めることで販売額の向上を図り、目標達成を目指す。	高温対策としてハウスに吹き付け選果剤を導入したものの、7月豪雨により選果剤が流れ落ち、その後の高温により草勢が低下するとともに選果剤が発生した。 ①現状値：平成27年度販売額6,540,961円/10a(見込)=160,406,597円/2.5ha ②目標値：平成30年度販売見込(見込)7,551,615円/10a(見込)=196,780,597円/2.6ha ③実績値：平成30年度販売見込(見込)6,243,205円/10a(見込)=196,780,597円/2.6ha ④達成率：(③-①)/(②-①)×100 今後は、適正な株数の検討や、炭酸ガス施用及び温度管理による効果的かつ有効な環境管理を実施する事により、期間を通じた安定生産を実現し、さらには新年度契約栽培を進めることで販売額の向上を図り、目標達成を目指す。	